

令和3年第1回庄原市議会定例会

一般質問通告者 及び 質問事項

3月5日・3月8日

質問順位

【代表質問】

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 結
(坂本 義明) | 2. 地域政党きずな庄原議員団
(山田 聖三) |
| 3. 清風
(赤木 忠徳) | 4. 市民の会
(吉方 明美) |

【個人質問】

- | | |
|----------|----------|
| 1. 横路 政之 | 2. 岩山 泰憲 |
| 3. 谷口 隆明 | 4. 田部 道男 |

庄原市議会

令和3年3月定例会 一般質問

【代表質問】

順位	会派名 (質問議員)	質問項目	ページ
1	結 (坂本 義明)	庄原市における林業の実態について	1
2	地域政党 きずな庄原議員団 (山田 聖三)	庄原いちばんづくりの検証について	2
3	清風 (赤木 忠徳)	庄原市が元気あふれる街となるには	4
		合併支援道路の早期整備を	6
4	市民の会 (吉方 明美)	子どもたちをセクハラや性犯罪から守るために校則の見直しをすべきではないか	7
		市の管理職へ女性を積極的に登用することについて	8
		庄原出身のアスリートの顕彰をすることについて	9

【個人質問】

順位	質問議員	質問項目	ページ
1	横路 政之	地域を守る建設土木工事の担い手を育てる公共工事の平準化について	10
		行政手続きにおける押印廃止について	12
		新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について	13
2	岩山 泰憲	高野・比和・総領中学校や、栗田・山内小学校などの統廃合計画の見直しと川北小児童の通学方法の改善について	14
		イノシシ被害から農家を守るため、国が補助する電気牧柵の事業にも取り組むことについて	15
3	谷口 隆明	「デジタル改革」「デジタル社会」の功罪について	16
		生活保護の「扶養照会」の撤廃を	17
		ダイオキシンを含む除草剤の埋設について	17
4	田部 道男	庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画について	18

一般質問日程

3月5日(金) 代表質問

3月8日(月) 個人質問

【代表質問】

順位	1	会派名	結	質問者	坂本 義明
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 庄原市における林業の実態について	(1) 近年、伐採後再造林されず放置されている山林が散見される。環境破壊により、災害を招くことを防止する対策はあるのか伺う。また、再造林のための苗木の供給はできるのか。				市長
	(2) 市内の広葉樹林では、ミズナラを中心にナラ枯れ被害が発生しているが、調査されているのか。また、防除等の対策は考えているのか。				
	(3) 平成26年度から取り組まれている木の駅プロジェクトの現状と課題について伺う。また、実施地域拡大の計画はされているのか。				

【代表質問】

順位	2	会派名	地域政党きずな 庄原議員団	質問者	山田 聖三
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 庄原いちばん づくりの検証 について	<p>第1期「庄原いちばんづくり」が今年度で終了するため、第2期「庄原いちばんづくり」の分野別政策及び施策が示された。「庄原いちばんづくり」は、木山市政の根幹となる計画であり、本市の最重要課題の解決に結びつくものでなければならないと考える。これまでの取り組みを十分に検証し、今後の取り組みを行う必要があるが、第1期をどのように検証され、第2期において、どのように取り組みを強化されるのか市長の所見を伺う。</p> <p>(1) まず、第1期の取り組みの成果と課題について伺う。</p> <p>(2) 「やっぱり、庄原がいちばんええよのお」と思える「まちづくり」は、何をもって達成すると考えるのか、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 次に、比婆牛ブランド化推進事業の取り組みの成果と課題について伺う。</p> <p>(4) 比婆牛ブランド化推進事業では、比婆牛の名前だけを残そうとするのか、それとも比婆牛の血統を残そうとするのか、市長の見解を伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	2	会派名	地域政党きずな 庄原議員団	質問者	山田 聖三
項目	質問の小項目及び要旨			答弁を 求める者	
1. 庄原いちばん づくりの検証 について	(5) 比婆牛ブランド化の推進においては、 「庄原で生まれ、庄原で育った比婆牛を、庄 原で食べる」ということを基本とした取り 組みが重要であると考えているが、市長の見解 を伺う。			市 長	
	(6) 次に、比婆いざなみ街道物語推進事業の 取り組みの成果と課題について伺う。				
	(7) 第2期「庄原いちばんづくり」の取り組 みに向けての市長の意気込み、決意につい て伺う。				

【代表質問】

順位	3	会派名	清風	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 庄原市が元気あふれる街となるには	<p>今定例会では、冒頭の令和3年度施政方針に続いて令和3年度予算が上程され、予算決算常任委員会で審査したところである。</p> <p>平成29年11月に策定された第2期持続可能な財政運営プランにおける、8年間で48億円不足するとの試算に基づき、来年度は歳入で5,700万円の増加、歳出で5億900万円の減額、合計で5億6600万円の取組効果を計上されている。市民生活に影響のないよう工夫を凝らしての歳出削減と読み取れるが、毎年度5億円以上の歳出削減には痛みを伴い、地域経済の縮小を意味することにもなる。もっと、歳入増の仕組みづくりを考えるべきであるとの思いで次の通り伺う。</p> <p>(1) 現在本市には、県営、市営工業団地の空きが無くなっている。アフターコロナにおいて、工場の集約化が行われることが予想され、現実にもその動きが見えている中、庄原インターチェンジの近くに工業団地を造成すれば、歳入の増加、働く場の増加に繋がり、活性化に寄与することは确实であると考えますが、このような歳入増加につながる計画があるのか伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	3	会派名	清風	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
<p>1. 庄原市が元気あふれる街となるには</p>	<p>(2) 本市全体の活性化は、周辺部の活性化無しには考えられない。会派清風は、周辺各町にシンボル事業を行うよう会派要望をしているが、今後周辺部の活性化はどのように計画されているのか。</p> <p>(3) 備北丘陵公園には多くの人々が来園されている。以前から、来園者を市街地へ誘導し、活性化を図ろうと数々の施策を講じてきたが、今一つ成果が上がっていない。それは、目的が丘陵公園であり、その後はいち早く帰路に着きたいという心理のためであろう。また、庄原インターチェンジに向けての道路は2カ所右折が必要なため渋滞をしている。これを左回りでインターに行けるように新道を計画し、さらに沿道または北口エリア内に道の駅等を併設すれば、農産品の販売が倍増することになると思うが、そのような新しい発想はないか。</p>				<p>市長</p>

【代表質問】

順位	3	会派名	清風	質問者	赤木 忠徳
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
2. 合併支援道路 の早期整備を	<p>(1) 先日、西城トンネル手前の国道 183 号で痛ましい交通事故が発生し、2名の市民が犠牲になられた。平成 30 年 9 月の一般質問で、国道 183 号西城大橋下側区間の整備に、今年度までに着手するとの答弁を頂いているが、その後の進展を具体的に伺う。</p> <p>(2) 会派清風は合併市町を繋ぐ国道、県道の早期整備を国県に要望するよう会派要望をしているが、主要地方道西城比和線及び庄原東城線の改良計画の進捗状況について伺う。</p>				市長

【代表質問】

順位	4	会派名	市民の会	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
1. 子どもたちをセクハラや性犯罪から守るために校則の見直しをすべきではないか	<p>校則は、本来教育的意味を持ち、その目的に沿って守られるべきである。</p> <p>本市中学校では「生徒指導規程」が定められており、生徒の人格完成と健やかな成長を願い指導を行っているが、全国では合理性のない校則により、生徒の人権が守られず、また生徒が性被害を受ける事例が多く報告されている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 庄原中学校の生徒指導規程第2条に「下着の色は男子：白、女子：白、黒、灰の単色」となっているが、その規定は必要なのか。また、女子の制服はスカートのみなのか、スラックスも選択できるのか。</p> <p>(2) 校則の改正を行う際、生徒や保護者の意見はどのように反映しているのか。</p> <p>(3) 今後、子どもたちをセクハラや性犯罪から守るため、どのような取り組みをされるのか。</p>				教育長

【代表質問】

順位	4	会派名	市民の会	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
2. 市の管理職へ 女性を積極的に 登用すること について	<p>政府は2020年までに指導的地位にある女性が占める割合を30%に引き上げる目標を掲げて取り組んできた。</p> <p>本市は第2次男女共同参画プランを見直す予定としているが、そのためにはこれまでの取り組みの検証が必要である。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 市役所本庁及び支所における女性管理職（課長級以上）の人数とその割合はどうか。</p> <p>(2) 女性管理職はなぜ増えないのか。その要因は何か。</p> <p>(3) 女性管理職増加を阻害する要因を解決するためにはどのような方策が必要だと考えるか。</p> <p>(4) 国の目標数値達成に向けて、新年度ではどのような取り組みを行われる予定か。</p>				市長

【代表質問】

順位	4	会派名	市民の会	質問者	吉方 明美
項目	質問の小項目及び要旨				答弁を 求める者
3. 庄原出身のアスリートの顕彰をすることについて	<p>本市は、スポーツをするにふさわしい環境を有しており、世界的なスポーツ選手も誕生している。</p> <p>金藤理絵さんは本市の誇れる世界的アスリートであり、本市は「ふるさと功労賞」や「ふるさとスポーツ大使」を委嘱するなどの取り組みがなされている。</p> <p>しかし、過去活躍したオリンピック選手がいるにもかかわらず、その存在と功績が庄原市民に周知されておらず、埋もれたままである。今のスポーツ界の礎を築いて来られた先人の存在を周知し、これからの子どもたちへ「挑戦する勇気と夢」を与えるため、その存在は大きいものがある。その方たちを顕彰し、広く市民に周知する必要があると考えるが、教育長の考えを伺う。</p>				教育長

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之	答弁を 求める者	市長
項目	質問の小項目及び要旨				
1. 地域を守る建設土木工事の担い手を育てる公共工事の平準化について	<p>近年頻発している大規模な自然災害に対して、住民の安全を確保し被害を最小限に食い止めるためには、地域の建設土木事業者の協力が必要不可欠であるが、建設業界では人材確保が年々難しくなっている。こうした中、地域を守る建設土木工事の担い手を育てるため、公共工事の平準化について伺う。</p> <p>(1) 予算において、年度をまたぐ大規模な公共工事などでは債務負担行為が設定されるが、長い工期を要する工事だけでなく、道路の舗装工事、修繕工事なども債務負担行為を設定し、年度をまたぐ工期で発注できるようにすることも必要と考えるが、現状と見解を伺う。</p> <p>(2) 新年度に発注する工事について前年度中に債務負担行為を設定し、前年度中に入札、契約を締結することにより、前年度内または新年度早々の工事着手を可能とする「ゼロ市債」の活用について、現状と今後の方針について伺う。</p>				

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 地域を守る建設土木工事の担い手を育てる公共工事の平準化について	<p>(3) 公共工事の工期設定や施工時期の選択を一層柔軟にすることで、工事の平準化を初め効率的な施工が可能となる。具体的な事例として、ゆとりある工事を促す「フレックス工期契約制度」や計画的な発注と円滑な施工を促す「早期契約制度」があるが、これらの制度を活用した公共工事の柔軟な工期の設定について、現状と今後の方針について伺う。</p> <p>(4) 工事が予定通り進まない場合、受注者に無理をさせないように、当初の計画を見直すことは、働き方改革を推進する意味からも重要である。そこで、やむを得ない理由で工期が遅れそうな公共工事について、年度末にこだわることなく、早い段階から必要日数を見込んで、繰越手続きを積極的に進めるべきと考えるが、見解を伺う。</p>		市長

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
2. 行政手続きにおける押印廃止について	<p>中央省庁の「行政手続きの押印廃止」を強力に推進している河野太郎行政改革担当大臣は、昨年10月16日の会見で、約1万5千の行政手続きのうち、「99.247%の手続きで押印を廃止できる」と明らかにした。その約1万5千のうち、各省庁が「押印を存続の方向で検討したい」と回答したのは、わずか1%にも満たない111種類とのことである。</p> <p>さらに、政府・与党は確定申告などの税務手続きにおいても、押印の原則廃止を検討する方針を明確にしている。国が推し進めるこの「押印廃止」について、言われているとおり約99%の中央省庁の行政手続きにおける押印が実際に廃止された場合、本市においても、何と何が連動して廃止できるのかなどの判断をし、今から廃止対象リストの洗い出しを積極的にすべきではないかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>また、既にその準備を進めている場合は、数値を含め取り組み状況を伺う。</p>		市長

【個人質問】

順位	1	質問者	横路 政之
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
3. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について	(1) 新型コロナウイルス感染症収束の切り札としてワクチン接種が国内でも始まっている。本市も庄原市新型コロナウイルス感染症対策本部にワクチン接種対策部を設置して万全の体制で臨もうとしておられるが、最新の実施体制はどうなっているのか伺う。		市長
	(2) ファイザー社ワクチンについては「ワクチンの性質上、振動を避け安定した状態で運搬することを踏まえ、保冷バッグを揺らさないよう慎重に取り扱い、移送に自転車やバイクの利用は避けること」との指針が紹介されているが、本市での移送手段はどうなっているか。		
	(3) やむを得ない事情により住民票所在地で接種を受けることができない方への対応はどうなっているか。		
	(4) 国は、ワクチンの円滑な接種を支援するための新たなシステム「ワクチン接種記録システム」を導入しようとしているが、本市での対応はどう考えているか。		

【個人質問】

順位	2	質問者	岩山 泰憲
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 高野・比和・ 総領中学校や、 粟田・山内小学 校などの統廃 合計画の見直 しと川北小児 童の通学方法 の改善につい て	<p>(1) 現在、教育委員会では、市内の小学校・中学校を統廃合する計画を策定し、それにより地域に説明されているが、地域住民の声がこの計画には反映されていない。また、人口の減少見込みは広島県教育委員会の推計であり、本市の定住施策による増加の取り組みは一切反映されていない。学校が地域にあることによる地域の活性化等、市民・保護者の意向が反映されていない計画であり、早急に地域の意見を聞き、地域に合った学校の存続を検討するとともに、この計画の見直しを早急を実施すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 近隣の他市では、中高一貫の学校の設置や小中一体の学校の取り組み等を地域住民の意向を尊重して取り組まれ、地域からも大変喜ばれている。本市においても、統廃合計画の推進だけでなく、中高一貫教育や小中の一体化等の取り組みを、地域の意向を聞きながら検討するべきと考えるが、見解を伺う。</p>		教育長

【個人質問】

順位	2	質問者	岩山 泰憲
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 高野・比和・ 総領中学校や、 粟田・山内小学 校などの統廃 合計画の見直 しと川北小児 童の通学方法 の改善につい て	(3) 休校後の川北小学校児童は、スクールバスによる通学となる。スクールバスの乗降場所は3カ所とされ、児童や保護者にとって大変不便との声がある。中学校のように多くの場所で乗降できるよう、児童のために配慮すべきと考えるが、見解を伺う。		教育長
2. イノシシ被害 から農家を守 るため、国が補 助する電気牧 柵の事業にも 取り組むこと について	現在、国は防護柵と併せて、電気牧柵についても一定の条件を満たせば補助する事業を進めている。本市においては、防護柵の事業のみ希望調査を実施されているが、地理的条件で防護柵の取り組みができない地域には、電気牧柵の希望を調査し、市の財政負担を必要としない国の制度を実施すべきと考えるが、見解を伺う。		市長

【個人質問】

順位	3	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 「デジタル改革」「デジタル社会」の功罪について	<p>市長は施政方針演説で、菅内閣総理大臣が描く「デジタル改革」、「生活全般におけるデジタル化」について、その動向を注視し、的確に対応する必要性について述べられている。</p> <p>経済や社会のデジタル化の進展は、人類文明の発展で人々に快適で便利なくらしをもたらす一方で、今日の資本主義経済のもとでは、あらゆる個人情報をも国や大企業が掌握し、国民が常時監視される「超監視社会」を招く恐れがある。</p> <p>昨年5月27日にスーパーシティ法(改正「国家戦略特区法」)が賛成多数で可決・成立した。スーパーシティとは、ビッグデータやAI(人工知能)などの最先端のデジタル技術を利用して、オンライン診療・オンライン教育・自動運転・顔認証による交通機関利用などのサービスを一括して住民に提供する都市のことである。また、デジタル庁を設置し、全国規模のクラウド移行、自治体のシステム統一・標準化・業務の効率化、マイナンバーカードの普及と保険証・免許証との一体化、教育のデジタル化などが言われている。こうしたなかで、個人情報が国家や企業に集中すると、「監視社会」になる危険性が高まる。</p>		市長

【個人質問】

順位	3	質問者	谷口 隆明
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 「デジタル改革」「デジタル社会」の功罪について	デジタル化に対応した個人情報保護の仕組みを抜本的に強化することなく、デジタル化だけを進めることは大変危険であり、デジタル化には慎重に取り組むべきと考えるが、市長の見解を伺う。		市長
2. 生活保護の「扶養照会」の撤廃を	<p>現在、国も生活保護は国民の権利だとして、積極的な利用を呼びかけているが、生活保護が必要な世帯の2割しか利用していない。申請をためらう原因に、「生活保護の申請を親族に知られたくない」との思いがある。1月28日の参議院予算委員会で、日本共産党の小池晃議員の質問に、田村厚生労働大臣は、扶養照会は「義務ではない」と答弁した。</p> <p>今後、扶養照会はやめるべきと考えるが、見解を伺う。</p>		市長
3. ダイオキシンを含む除草剤の埋設について	1月25日の朝日新聞の報道によると、ダイオキシンを含む除草剤約26トンが、15道県・42市町村の国有林に半世紀前から埋められたままになっている。庄原市にも374kg埋められているとのことだが、その管理や安全性は確認できているのか。また、記録的な豪雨災害、地震などを考えると、いずれは撤去すべきだと考えるが、市の対応について伺う。		市長

【個人質問】

順位	4	質問者	田部 道男
項目	質問の小項目及び要旨		答弁を 求める者
1. 庄原市立学校 適正規模・適正 配置基本計画 について	<p>庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画については、第1グループの統合に合意された小学校では、新年度から新たな教育体制がスタートする。</p> <p>児童、保護者の期待に応え、円滑に新学期が始まることを願うものである。</p> <p>しかし、これまでも議会一般質問で各議員が懸念する点もあることから、次の事項について教育長の所見を伺う。</p> <p>(1) 庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画における小学校を対象とした第1、第2グループの進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 永末小学校について、児童数が増加する見込みがあり、「当面、計画推進を見送る。ただし、計画の白紙化については、教育委員会は否定した。」との新聞報道があったが、事実関係について伺う。</p> <p>(3) 小学校・中学校の統合に関し、少子化の進んだ遠隔僻地の学校については、小規模な小・中一貫教育学校としての再編も県内外で見られる。令和2年3月定例会での一般質問に対する答弁に、本市での小・中一貫教育学校について、検討する必要がある、との答弁があったが、このことについて、本市での教育施策に取り入れる考えはないか、改めて伺う。</p>		教育長

【個人質問】

順位	4	質問者	田部 道男	
項 目		質 問 の 小 項 目 及 び 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
1. 庄原市立学校 適正規模・適正 配置基本計画 について		<p>(4) 庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画推進における、高野・比和・総領中学校の統合計画は、どう考えても拙速な施策との市民感情があり、直ちに撤回すべきとの声が強。庄原市は合併によって極めて広域で、へき地・豪雪地域も含まれており、生徒の通学には特段の配慮が必要である。特に高野中は、松江道を利用して口和中へ1時間以内で通学可能との前提で統合が計画されているが、この冬の豪雪で松江道・迂回路の県道ともに度々交通途絶しており、通学は困難であると考えが見解を伺う。</p> <p>(5) 現在の適正規模・適正配置計画については、地域が要望しない小学校の統廃合はこれ以上推進せず、中学校を対象とした第3グループについても当面計画の凍結を検討し、関係地域の意向を聞いた上での施策推進に切り替えをされるべきと考えるが、所見を伺う。</p>		教育長